

オコト交配

MARUSU
マールス



**作り易さで
大好評
豊産性の三季まき**

- 株張り良く生育旺盛。
- 8月上旬～3月上旬まきに好適。

マルス ほうれんそう

MARUSU

大好評の豊産性三季まき

栽培の要点

特 性

- 夏～早春のいずれの播種期においても、耐暑・耐寒性が強くて作りやすく、生育旺盛で株張りの良い多収種。
- 葉は濃緑で幅広く、浅い欠刻が入る中間葉になり、葉肉が厚いので日持ちが良い。
- 草姿は半立性なので、出荷作業が容易です。
- 根部の赤味が強いので市場性も高い。

作型とポイント

- 8月初旬～3月上旬の播種に好適。
- ハウス栽培では、9月中旬までの播種で25～30日、9月中旬～10月中旬まきで35～40日、11月まきでは55日前後で収穫始めとなる早生品種。
- 冬～早春どりの作型では被覆資材を使い、生育促進と葉いたみの防止を心がける。

(注意点)

- ベト病R-1の抵抗性はあるが、発生した場合は広がらないうちに防除を行う。
- 年明けの播種では、やや葉軸が長く、夏まきでは生育が早いので、播種面積や収穫遅れには充分注意する。



栽培地	月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
高冷地 及 冷涼地		●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	●
一般地		●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	●